



桜の開花もあと2週間ほどです。新入学、新学年はもうすぐです。春休みの気分転換も良いですが、新たな学年の準備を整えることも忘れないようにしましょう。

個個港学舎 舎長 八木貴子

## 学習状況のお知らせ

新年度に向かい、さらに学習に集中して頂けるように学習席の整備を行っています。

また、自習席の使用法や規則なども変更がありますので、詳しくは4月に郵送する生徒規則をご覧ください。

また、4月より諸経費が1500円+税となります。よろしくお願ひします。



## 旬！セロリのレシピ

セロリはセリ科の植物で江戸時代に日本へ持ち込まれた外来の野菜です。通年、日本中どこかで栽培され、旬という印象はありませんが、あえて選ぶなら露地物が出回っている春または秋でしょう。

栄養素としてはビタミンB1、B2、C、Eなどと食物繊維も豊富です。葉のほうに栄養があり、塩もみして塩昆布と和えるなどして食べてください。

### 「セロリと牛肉のオイスターソース炒め」

セロリの香りが苦手な方も、炒めることで食べやすくなります。

牛もも肉(ステーキ用、焼き肉用):280g、セロリ:2本、オイスターソース、醤油、酒、砂糖:各小さじ2杯、水、サラダ油:大さじ2杯、小ねぎ:適量、塩、コショウ:適量(4人分)

①牛肉は細切りにし、ボウルに調味料、水、サラダ油を加えて10分ほど下味をつける。②セロリは表面のスジをピーラーで取り、5mm程度の斜め切り。③フライパンにサラダ油を熱し、中火で2分程度セロリを炒め、取り出す。

④そのままフライパンに牛肉と調味料を入れ、中強火で炒める。⑤火が通ったらセロリを戻し、調味料をよくからめる。⑥器に盛り、小ねぎを散らして出来上がり。



## いろはに偉人裏話「か」

### 「か」葛飾北斎(かつしかほくさい)

葛飾北斎は人気浮世絵師に入門しましたが、師に内緒で狩野派の画法や洋画も学び、これが発覚し破門されました。生活に窮した北斎は、灯笼やうちわの絵を描いたり、時には行商するなど、「餓死しても絵の仕事はやり通してみせる」と腹をくり、朝の暗いうちから夜更けまで筆を走らせていました。本の挿絵、役者絵、美人画、武者絵、相撲画まで、内職として手当たり次第に描きました。「私は絵を描く気遣いである」とまで宣言したほどです。



<高い誇り>ある時、オランダ人医師が絵を注文しましたが、絵が完成すると「半値にしてくれ」と値切ってきました。怒って絵を持ち帰った北斎は、たしなめた妻に「同じ絵を相手によって半値にすれば、日本の絵描きは掛け値の取引をされると言われる。この様な事は絵師のみでなく、日本人全体の信用に係わる大事なのだ」と応えました。

<北斎漫画>民衆の様々な表情や動植物のスケッチを収めた彩色摺絵本『北斎漫画』を発表し好評を得ました。軽妙で自由奔放な筆運びから、北斎は“森羅万象を描く絵師”とまで言われました。西洋に輸出された日本陶器の包装紙に見終えた『北斎漫画』のページが使われ、そのデッサンの秀逸さに驚嘆した仏人の版画家が画家仲間へ教え、そこから空前のジャポニスム＝日本ブームが広まりました。

<富岳三十六景>画中のどこに富士を配置すべきか計算し尽くされ、まるで富士を中心に宇宙が広がっているようです。「凱風快晴」(通称:赤富士)や「神奈川沖浪裏」が特に有名。これらの作品は、それを見たゴッホが賞賛したり、そこから発想を得たドビュッシーが交響詩『海』を作曲したりと、その後の西欧の芸術家に多大な影響を与えました。

<転居は93回>一日に3回引っ越したこともあるようです。北斎が転居を繰り返したのは、彼自身と、出戻り娘のお栄(葛飾応為)とが、絵を描くことに集中し、部屋が荒れたり汚れたりするたびに引っ越していたからです。北斎の93回は極端にしても江戸の庶民は頻りに引っ越したようです。



### <娘もスゴイ！葛飾応為(おうい)>

北斎が「おーい、おーい」と呼んでいたのもそのまま名前になったとか。浮世絵師であり、“おんな北斎”とよばれています。女性ならではの繊細さとモダンさ、江戸時代に描かれたとは思えない作品ばかりです。代表作「吉原格子先之図」は緻密な細部描写が見どころです。

<享年88歳>死を前にした北斎は「せめてもう10年、いや、あと5年でもいい、生きることができたら、わたしは本当の絵を描くことができるのだが」と嘆きました。この偉大な絵師は、最後まで修業をしていたのでした。

